

第19回 信州のトップに聞く 報告書

(2019年10月1日～24日調査)

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果 概要	4
	クロス集計表	19
	記述回答	30
	単純集計	34
III	調査票	36



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 目的・設計・回答状況

◆ 調査の目的

長野県のリーダー層の意識を探る狙いです。企業トップ、市町村長らを対象に景況感や時々 of 県政、国内外の諸課題に対する受け止めなどを聞き、考える材料を提起します。1997年の初回「社長に聞く」から数えて今年で19回目となります。

◆ 設計

- ▽調査対象 県内の各業界で中核的に活動している企業の経営トップ（県外に本社を置く企業の支店長、工場長らも一部含む）、全77市町村長、その他団体の長、計559人。
- ▽調査方法 郵送（一部ファクス、インターネット回答）
- ▽調査期間 2019年10月1日～24日

◆ 回答状況

▽有効回答者数・回答率

全 体	291人	・	52.1%
(組織別)			
企業のトップ	217人	・	47.7%
市町村長	60人	・	77.9%
その他団体の長	14人	・	51.9%

▽回答方法別の有効回答者数（比率）

郵 送	172人 (59.1%)
ファクス	66人 (22.7%)
インターネット	53人 (18.2%)

【注】

- ・報告書のパーセント数字は原則、小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。見出しのみ小数点第1位を四捨五入
- ・「その他団体」はサンプル数が少ないため、データは参考値。本文やグラフの分析には使用しない
- ・過去からの推移を示すグラフで、調査の期間が月をまたいでいる場合は、調査終了時の月を調査時期として示した

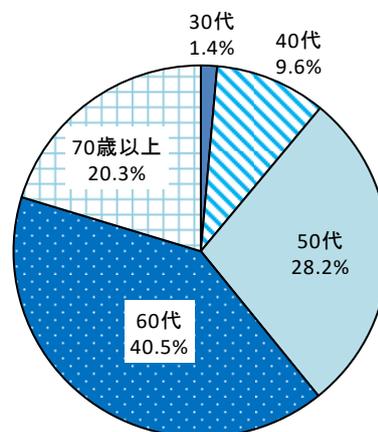
有効回答の内訳

【性別】

男性	287	98.6%
女性	4	1.4%

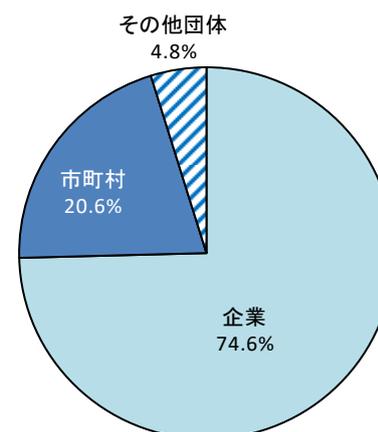
【年代】

20代	-	-
30代	4	1.4%
40代	28	9.6%
50代	82	28.2%
60代	118	40.5%
70歳以上	59	20.3%



【組織の種別】

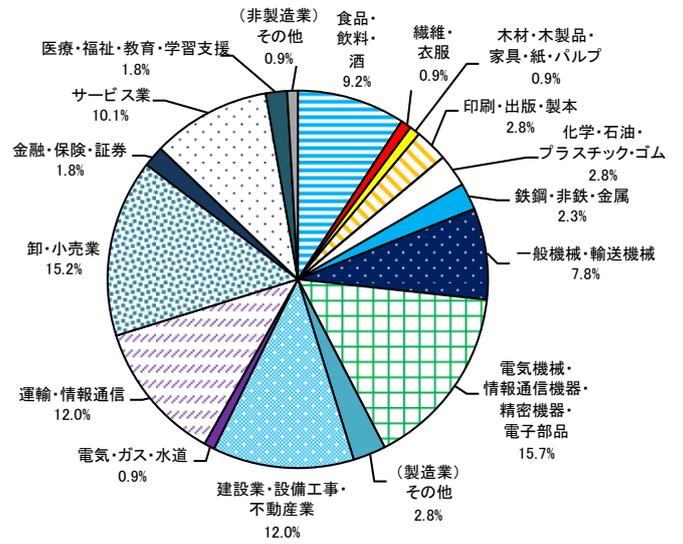
企業	217	74.6%
市町村	60	20.6%
その他団体	14	4.8%



※以下、企業のみ

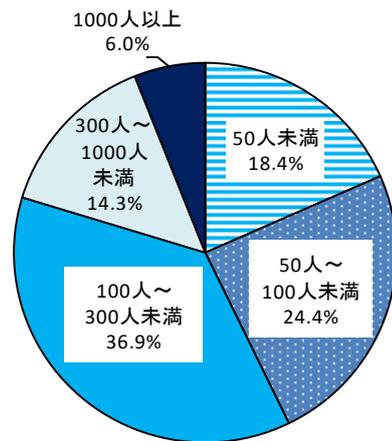
【業種】

食品・飲料・酒	20	9.2%
繊維・衣服	2	0.9%
木材・木製品・家具・紙・パルプ	2	0.9%
印刷・出版・製本	6	2.8%
化学・石油・プラスチック・ゴム (医薬品・化粧品・セメントなど)	6	2.8%
鉄鋼・非鉄・金属	5	2.3%
一般機械・輸送機械	17	7.8%
電気機械・情報通信機器・ 精密機器・電子部品	34	15.7%
製造業・その他	6	2.8%
建設業・設備工事・不動産業	26	12.0%
電気・ガス・水道	2	0.9%
運輸・情報通信(通信・放送・ 情報処理・ソフトウェアなど)	26	12.0%
卸・小売業	33	15.2%
金融・保険・証券	4	1.8%
サービス業(飲食・宿泊・リース・ 広告・人材派遣・修理など)	22	10.1%
医療・福祉・教育・学習支援	4	1.8%
非製造業・その他	2	0.9%



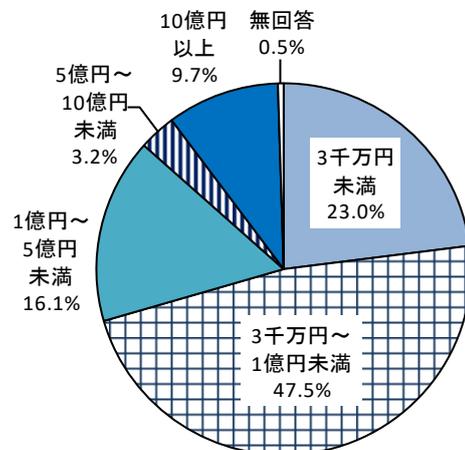
【規模】

50人未満	40	18.4%
50人～100人未満	53	24.4%
100人～300人未満	80	36.9%
300人～1000人未満	31	14.3%
1000人以上	13	6.0%



【資本金】

3千万円未満	50	23.0%
3千万円～1億円未満	103	47.5%
1億円～5億円未満	35	16.1%
5億円～10億円未満	7	3.2%
10億円以上	21	9.7%
無回答	1	0.5%



II 調査結果 概要

有効回答 291人

景況・経済課題について

景況感

問1 あなたは、現在の景気はどんな段階にあると思いますか

- A 国内全体
- B 長野県内

◆県内「好況から減速局面に」55%

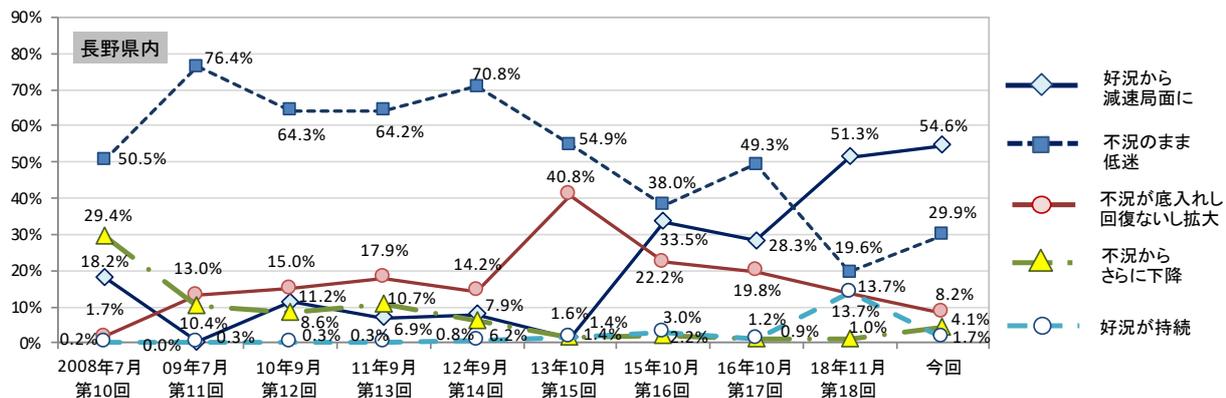
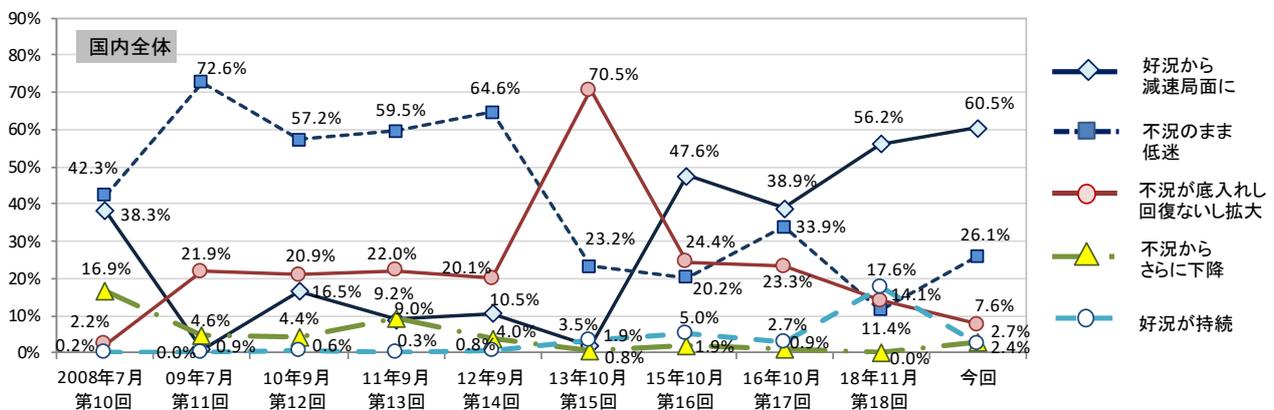
クロス集計表 19 ページ

景気はどんな局面にあるのか、国内全体、長野県内のそれぞれについて聞いている。

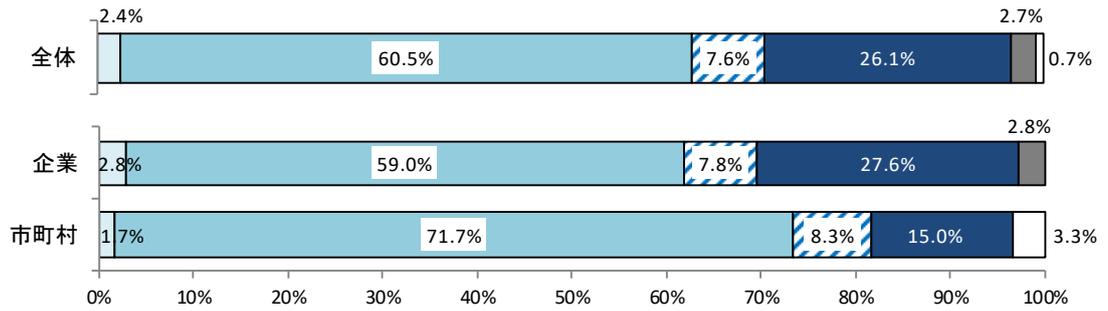
「好況から減速局面に」との見方が、国内全体は60.5%、長野県内は54.6%に上り、2018年の前回調査に続きいずれも最多となった。

次いで、「不況のまま低迷」が国内全体26.1%、長野県内29.9%で、前回よりそれぞれ14.7ポイント増、10.3ポイント増と悪化。常用勤務者50人未満の企業のトップは、国内全体42.5%、長野県内45.0%とさらに厳しく受け止めている。

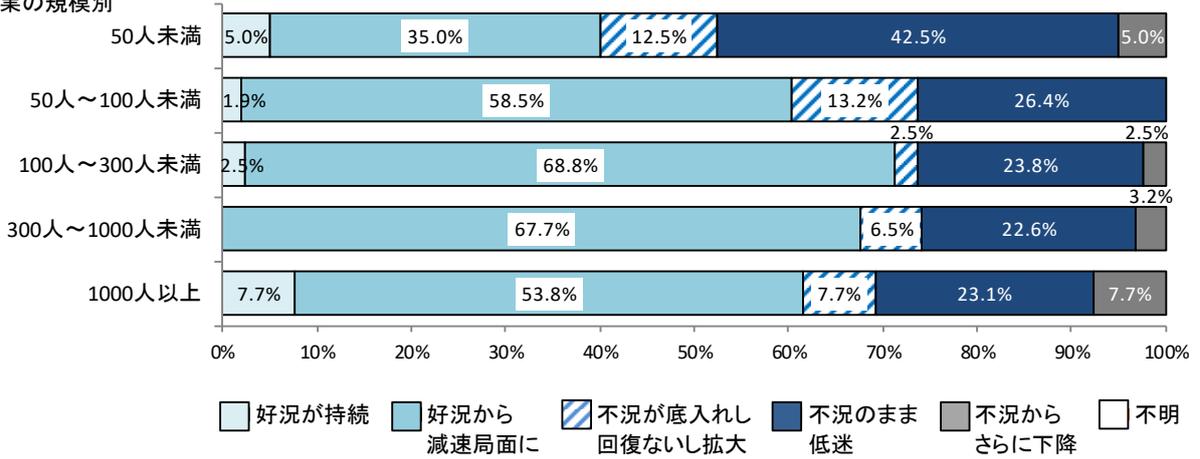
一方、「好況が持続」との見方は、国内全体2.4%、長野県内1.7%で、前回はそれぞれ15.2ポイント、12.0ポイントと大きく下回った。



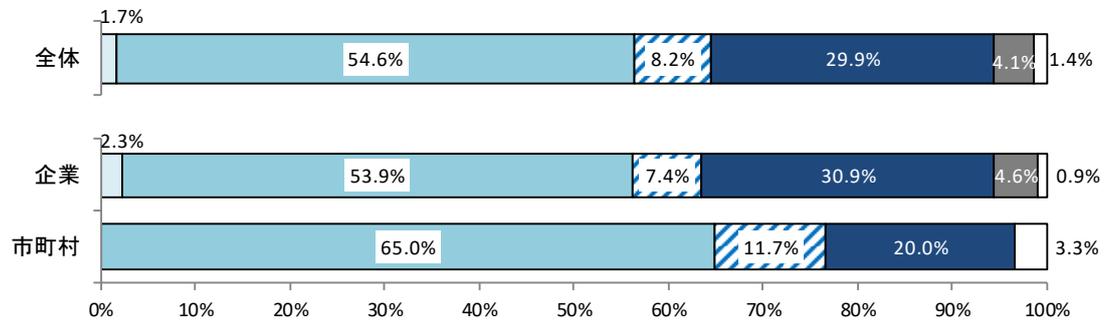
国内全体



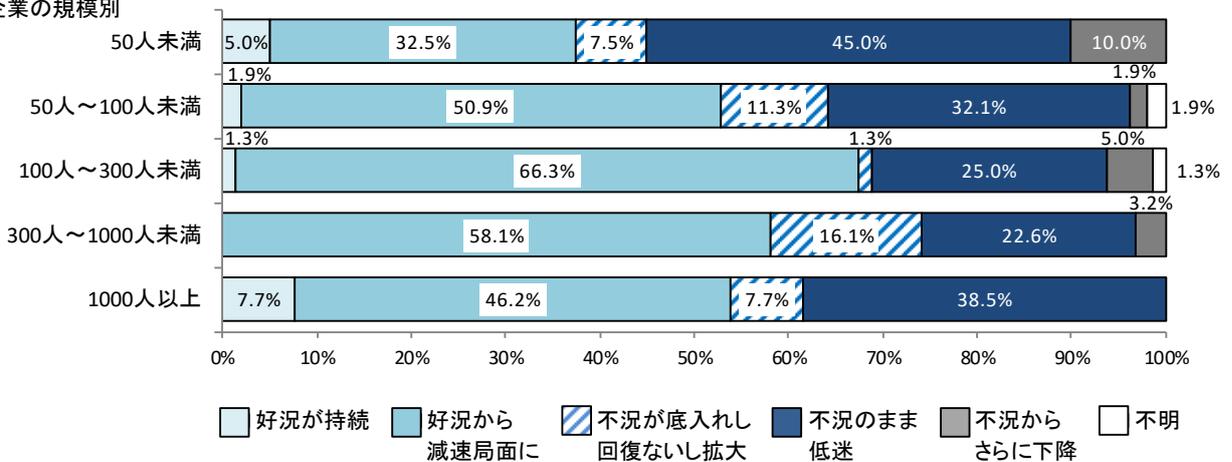
■企業の規模別



長野県内



■企業の規模別



消費税 10%

問2 消費税率が、10月から、予定通り8%から10%へ引き上げられました。
あなたは、今回の消費税増税を評価しますか

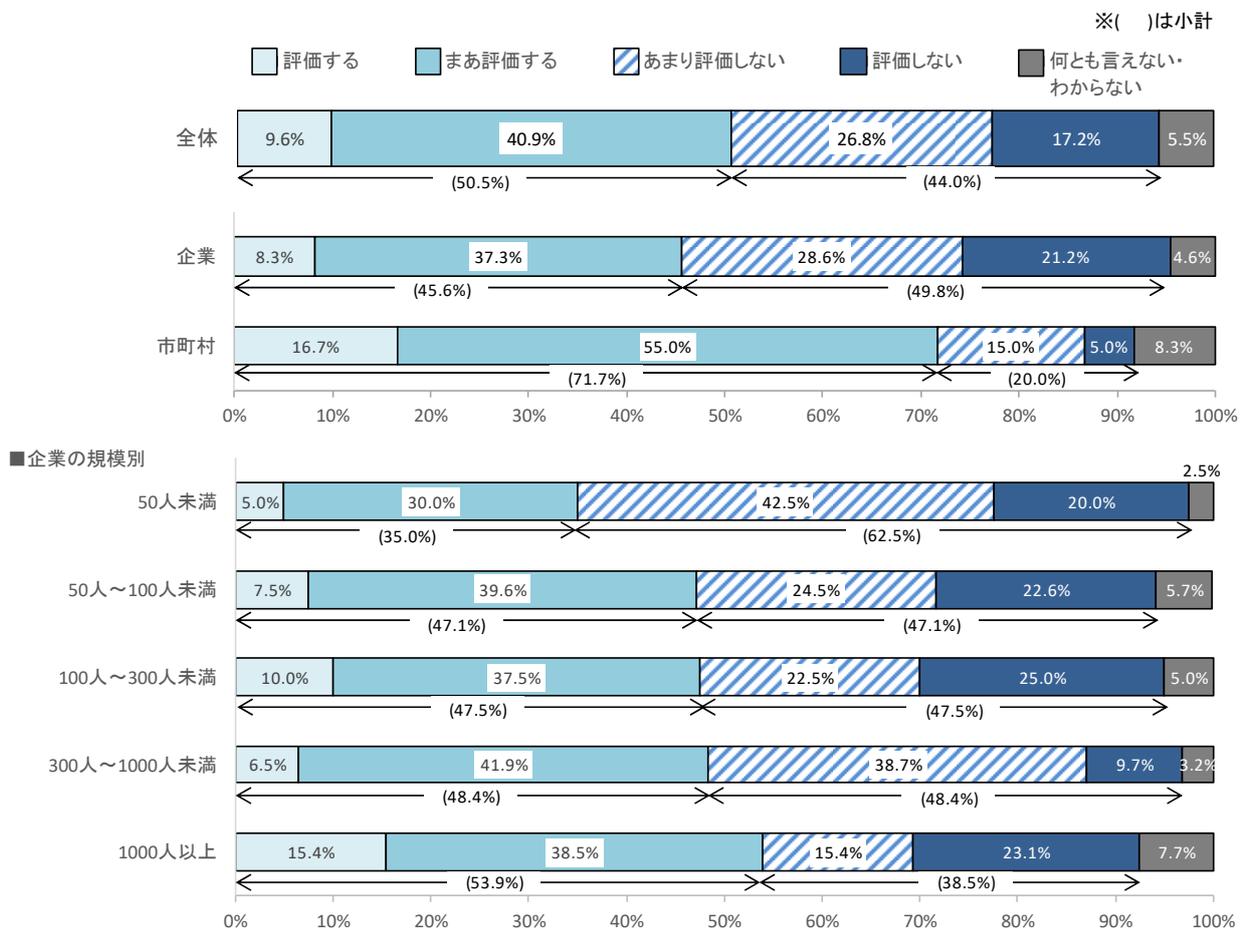
◆「評価」「まあ評価」 企業 46% 市町村長 72%

クロス集計表 20 ページ

「評価する」9.6%、「まあ評価する」40.9%が計50.5%と過半数に達し、「あまり評価しない」26.8%、「評価しない」17.2%が計44.0%。

企業のトップに限ると、「評価する」「まあ評価する」は計45.6%で、「あまり評価しない」「評価しない」が計49.8%と逆転。規模別にみると、常用勤務者50人未満の企業のトップはそれぞれ計35.0%、計62.5%と厳しい目を向け、逆に1000人以上は計53.9%、計38.5%と評価する割合の方が高い。

一方、市町村長は、「評価する」「まあ評価する」が計71.7%に上るが、「評価しない」「あまり評価しない」も計20.0%。



米中貿易摩擦

問3 米中貿易摩擦について伺います。

A 自社の業績への影響をどうみていますか（企業トップの方にお尋ねします）

B 地域経済への影響をどうみていますか（自治体・団体トップの方にお尋ねします）

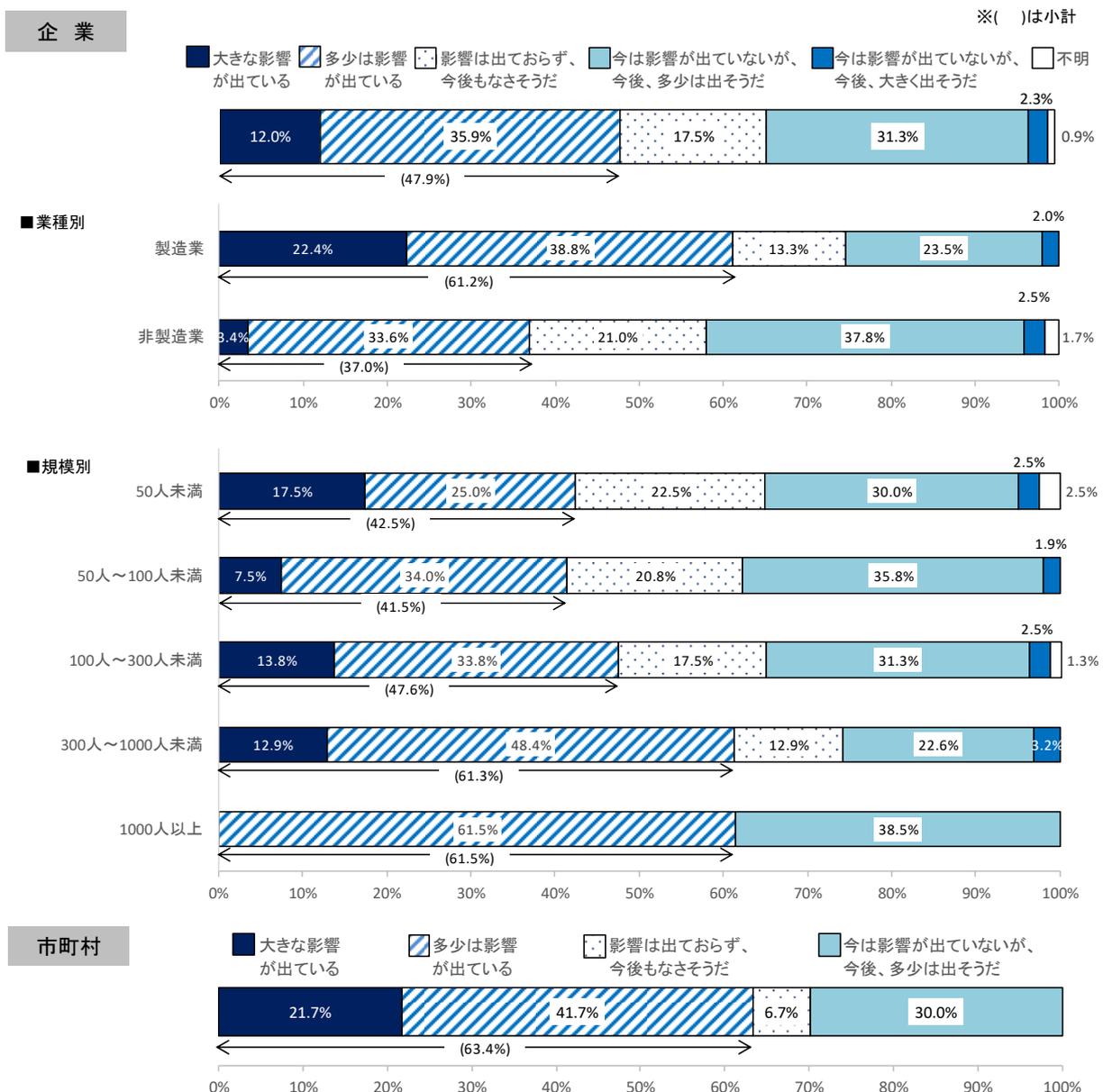
◆「多少は」「大きな」影響 企業の48% 市町村長の63%

クロス集計表 20、21 ページ

企業トップに尋ねたところ、自社業績に「大きな影響が出ている」との回答は12.0%。「多少は影響が出ている」が35.9%と最も多く、「大きな」「多少は」を合わせると計47.9%。「今は影響が出ていないが、今後、多少は出そうだ」が31.3%。

業種別にみると、製造業は「大きな」「多少は」が計61.2%で、非製造業は計37.0%。規模別では、300～1000人未満、1000人以上は計60%台と高かった。

市町村長で地域経済に「大きな影響が出ている」との回答は21.7%、「多少は影響が出ている」が41.7%で計63.4%。「今は影響が出ていないが、今後、多少は出そうだ」が30.0%。



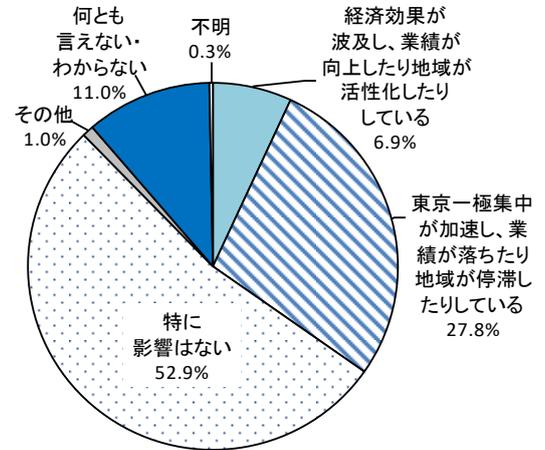
東京オリンピック・パラリンピック

問4 東京オリンピック・パラリンピックが来年開催されます。
あなたの会社、市町村、団体への影響をどうみていますか

◆ 「一極集中が加速」28%

クロス集計表 21 ページ

「特に影響はない」が 52.9%で最多。次いで、「東京一極集中が加速し、業績が落ちたり地域が停滞したりしている」とのマイナスの見方が 27.8%。「経済効果が波及し、業績が向上したり地域が活性化したりしている」との見方はその4分の1の 6.9%にとどまる。プラス効果はかなり限定的のようだ。企業トップ、市町村長とも類似の傾向。



アベノミクスの評価

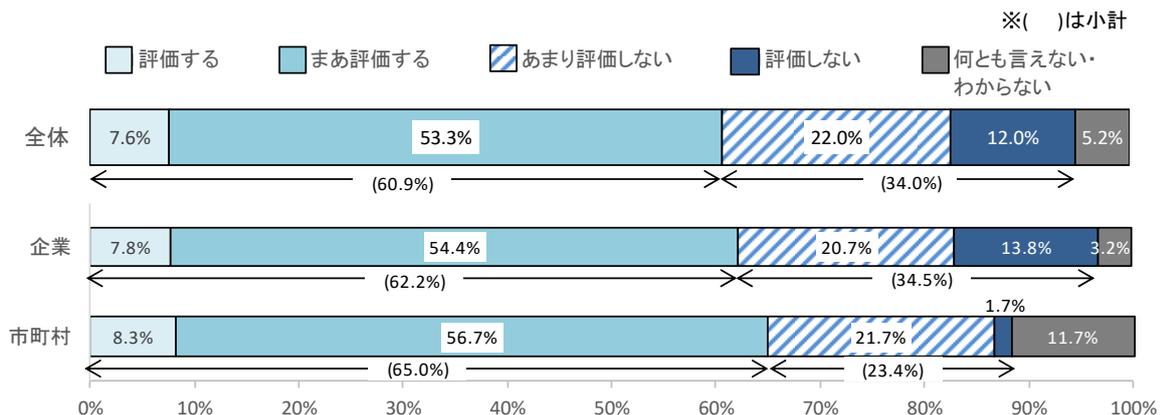
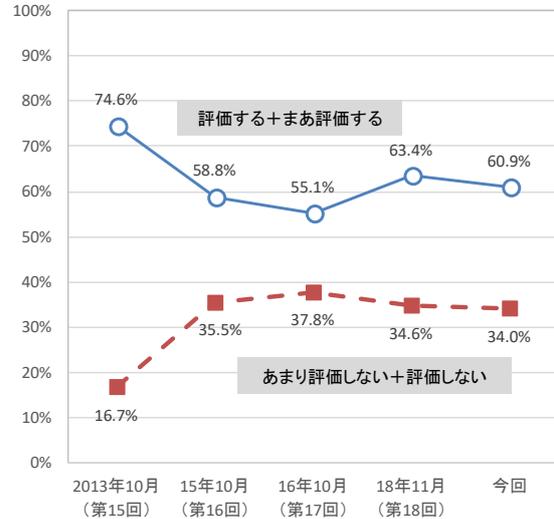
問5 あなたは、安倍首相の経済政策「アベノミクス」を評価しますか

◆ 「評価」「まあ評価」計 61%

クロス集計表 22 ページ

「評価する」は 7.6%と 1割に満たないが、「まあ評価する」が 53.3%で計 60.9%、「あまり評価しない」22.0%、「評価しない」12.0%の計は 34.0%。2018年の前回調査はそれぞれ計 63.4%、計 34.6%でほぼ同様の傾向となった。

企業のトップの回答を規模別にみると、常用勤務者 50 人未満は「評価する」「まあ評価する」が計 50.0%、「あまり評価しない」「評価しない」が計 47.5%と拮抗している。



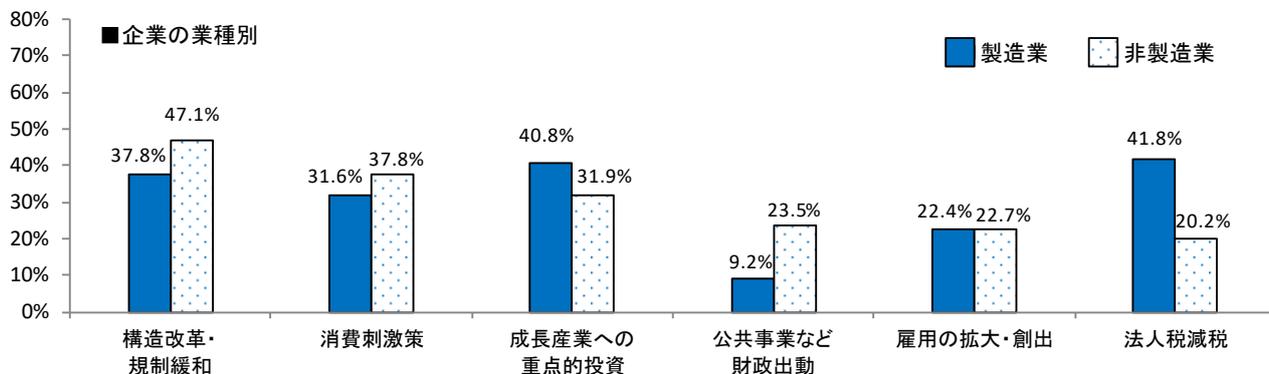
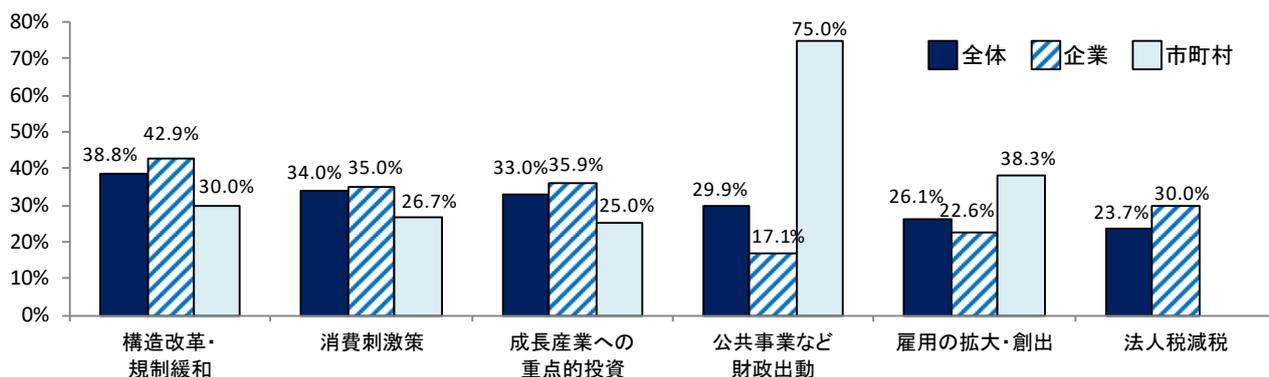
優先してほしい国の経済対策

問6 あなたが、国の経済対策で優先的に取り組んでほしいのは、どのようなことですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください

◆ 企業「構造改革」 市町村「財政出動」

クロス集計表 22 ページ

「構造改革・規制緩和」が全体の38.8%で最多。ただ、企業トップは42.9%に対し、市町村長は30.0%と差が大きい。次いで、「消費刺激策」34.0%、「成長産業への重点的投資」33.0%。「公共事業など財政出動」が29.9%で続くが、市町村長は75.0%が挙げ、企業のトップは17.1%にとどまった。



長野県政・県内課題について

阿部知事の支持率

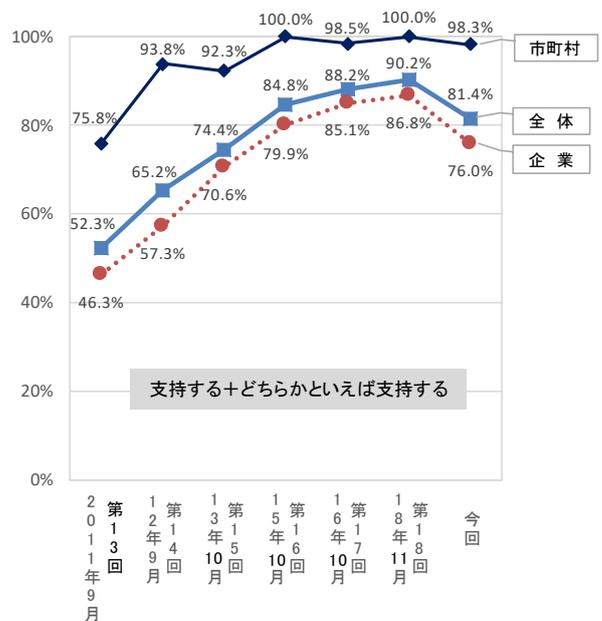
問7 あなたは、阿部守一知事を支持しますか

◆ 「支持」計81% 前回比9ポイント減

「支持」27.1%、「どちらかといえば支持」54.3%で計81.4%。高い支持率だが、2018年の前回「トップに聞く」調査に比べ8.8ポイント低い。2010年の就任以来、この調査で下がったのは初めて。明確な「支持する」が21.6ポイントの大幅減、「どちらかといえば支持する」が12.8ポイント増。「どちらかといえば支持しない」5.8%、「支持しない」1.7%は計7.5%で4.2ポイント増。「何とも言えない・わからない」が10.3%で5.1ポイント増だった。

企業のトップは、「支持」が18.4%、「どちらかといえば支持」が57.6%で計76.0%と、前回比10.8ポイント減。市町村長はそれぞれ53.3%、45.0%で計98.3%、前回は計100%。

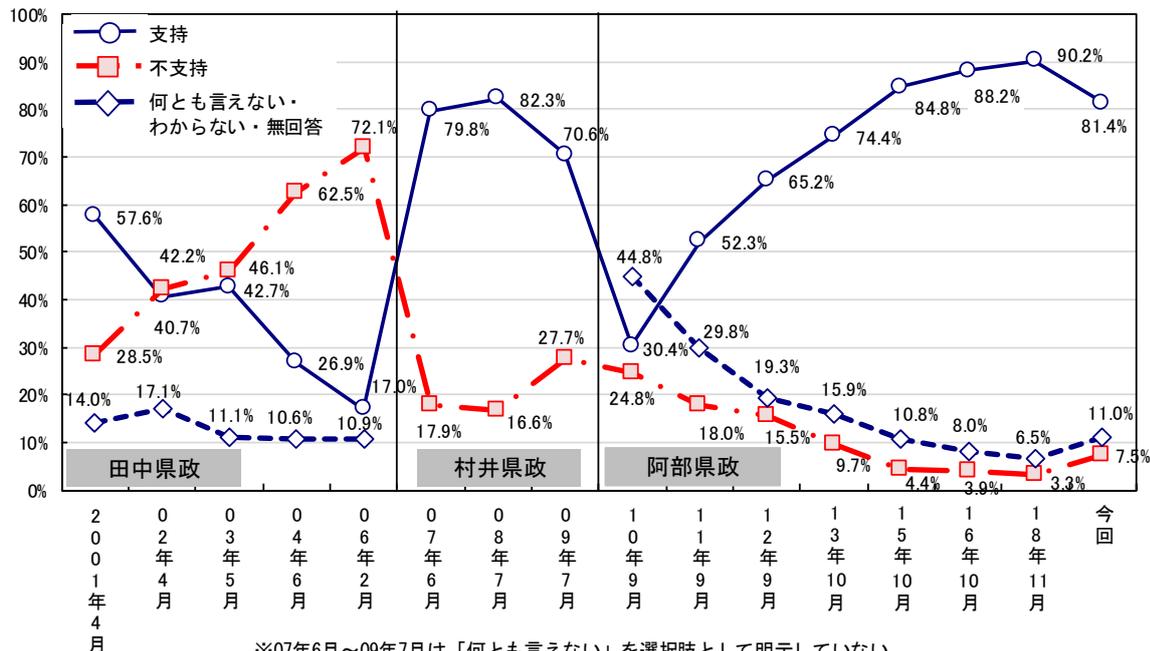
クロス集計表 23 ページ



参考に長野県世論調査協会が「阿部県政9年」で今年8月に行った電話による県民世論調査では「支持」40.4%、「どちらかといえば支持」43.6%で計84.0%。

■ トップの知事支持率

注：支持は「支持する」「どちらかといえば支持する」の合計
不支持は「支持しない」「どちらかといえば支持しない」の合計



※07年6月～09年7月は「何とも言えない」を選択肢として明示していない

支持・不支持の理由

問8 (問7で「支持する」「どちらかといえば支持する」とお答えの方にお尋ねします)
 支持する一番の理由は何ですか。次の中から選んでください

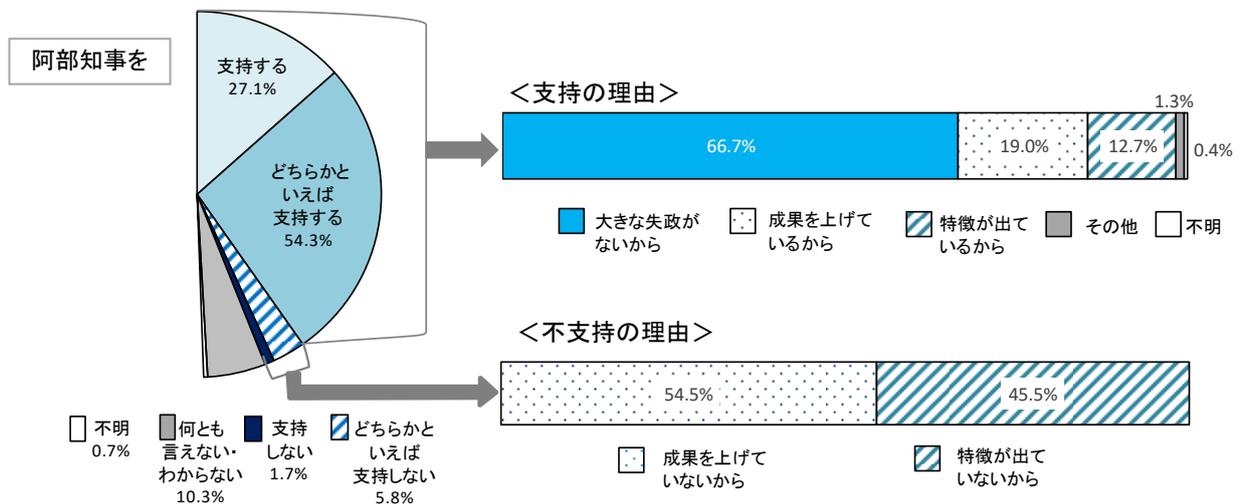
問9 (問7で「どちらかといえば支持しない」「支持しない」とお答えの方にお尋ねします)
 支持しない一番の理由は何ですか。次の中から選んでください

◆ 支持理由「大きな失敗がない」67%

クロス集計表 23、24 ページ

阿部知事を支持する理由は、「大きな失敗がない」が66.7%と3分の2を占め、次いで、「成果を上げている」19.0%、「特徴が出ている」12.7%。企業のトップに限ってみると、それぞれ73.9%、12.7%、11.5%と「大きな失敗がない」を挙げる割合が高く、市町村長は、それぞれ50.8%、28.8%、18.6%と「成果を上げている」を挙げる割合が高いのが目立つ。

一方、支持しない理由は、「成果を上げていない」54.5%、「特徴が出ていない」45.5%。「失敗が目立つ」を挙げた人はいない。



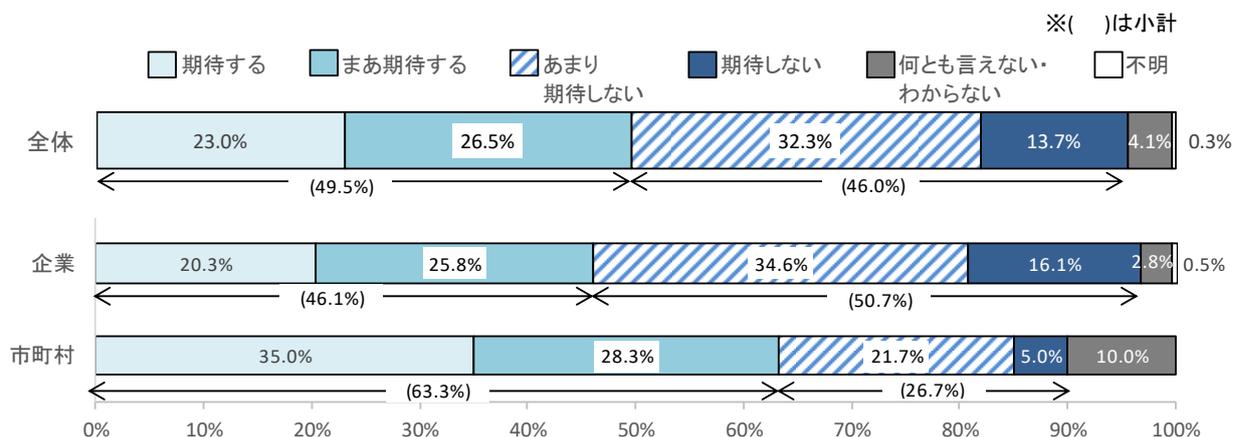
リニア中央新幹線

問10 あなたは、2027年開業予定のリニア中央新幹線に期待しますか

◆「期待」「まあ期待」半数

クロス集計表 24 ページ

「期待する」23.0%、「まあ期待する」26.5%が計49.5%、「あまり期待しない」32.3%、「期待しない」13.7%は計46.0%。過去5回も「期待」「まあ期待」が計50%前後で推移してきた。また、「期待」「まあ期待」は、市町村長だけでみると計63.3%と高い。



米軍機の訓練

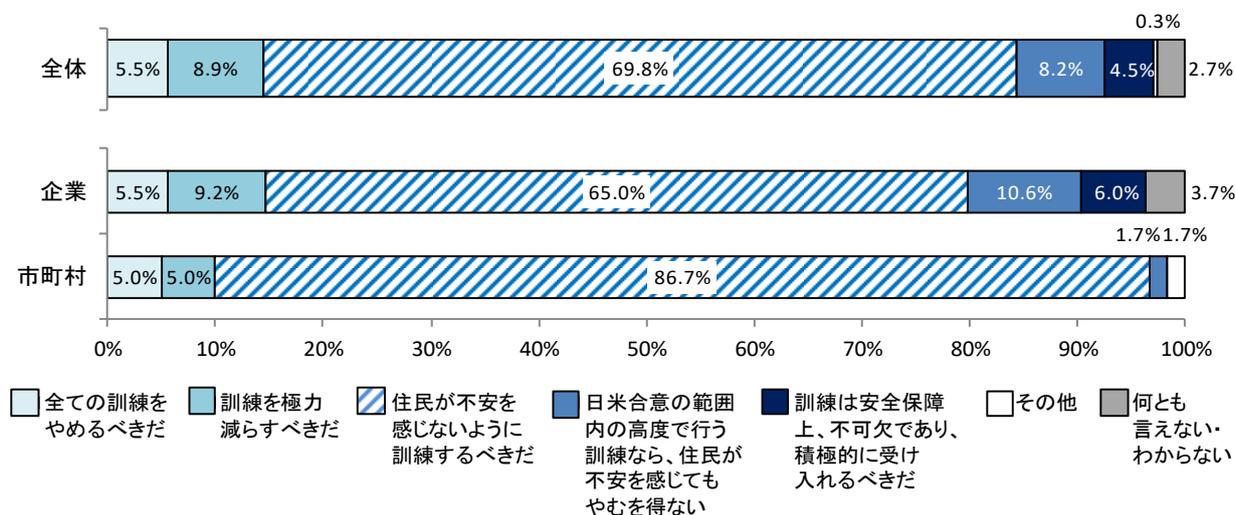
問11 長野県内でも米軍機の飛行訓練が行われ、住民が、その轟音（ごうおん）に不安を感じるケースが出ています。このことについて、あなたのお考えに最も近いものは、次の中でどれですか

◆「住民が不安を感じないように」70%

クロス集計表 25 ページ

「住民が不安を感じないように訓練するべきだ」との回答が69.8%で最多。市町村長でみると86.7%に上る。訓練を否定しないまでも、不安払拭を求める声強い。

全体で「全ての訓練をやめるべきだ」との強い意見は5.5%、「訓練を極力減らすべきだ」が8.9%。一方、「日米合意の範囲内の高度で行う訓練なら、住民が不安を感じてもやむを得ない」との意見は8.2%。「訓練は安全保障上、不可欠であり、積極的に受け入れるべきだ」は4.5%で市町村長ではゼロだった。



護国神社支援組織会長「違憲ではない」

問12 阿部守一知事が、長野県護国神社（松本市）の支援組織会長を務め、寄付集めの趣意書にも名を連ねていたことから、憲法が定める政教分離の原則に反する恐れがあるとの指摘が専門家から出ています。これに対し阿部知事は、私人としての活動で、県の活動とは一線を画しており、憲法に違反するものではないとの説明をしました。あなたは、知事の説明に納得しますか

◆ 知事の説明 「納得」計 58% 「納得しない」計 29%

クロス集計表 25 ページ

阿部知事の説明に対する受け止めは、「納得する」が 23.4%、「まあ納得する」は 34.4% で計 57.8%。これに対し、「あまり納得しない」が 18.6%、「納得しない」は 10.3% で計 28.9%。2対1の割合だが、「何とも言えない・わからない」が 13.1%で、「あまり納得しない」「納得しない」と合わせると 42.0%。

市町村長に限ってみると、「納得」「まあ納得」が計 65.0%と高い。「あまり納得しない」「納得しない」も計 18.4%、「何とも言えない・わからない」が 15.0%。一方、企業のトップは、「納得」「まあ納得」が計 55.7%、「あまり納得しない」「納得しない」は計 31.4%、「何とも言えない・わからない」12.9%。

